

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	令和5年度 第1回 嬉野市総合戦略推進委員会		
開催日時	令和5年11月15日(水) 13:30～15:30		
開催場所	嬉野市塩田公民館2階 第2研修室		
会議の公開の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員 (敬称略)	戸田順一郎、石川政広、鶴田英樹 深村頌子、大門光	
	事務局	総合戦略推進部長、企画政策課長、副課長、主事	
	その他		
会議の議題	① 委嘱状交付・新委員紹介 ② 委員長あいさつ ③ 総合戦略（令和4年度）事業進捗状況・効果検証について ④ 地方創生関係交付金事業について ⑤ その他		
配布資料	① 令和5年度第1回嬉野市総合戦略推進委員会次第 ② 第2期嬉野市総合戦略推進委員会 委員名簿 ③ 嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略＜令和4年度事業進捗・効果検証シート＞ ④ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（R4 事業一覧） ⑤ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（R5 事業一覧） ⑥ デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業（令和4年度事業） ⑦ デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）事業（令和5年度事業）		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	1. 副委員長の選任について 2. 総合戦略（令和4年度）事業進捗状況・効果検証について 3. 地方創生関係交付金事業について		
内 容	1. 事務局より説明。委員質問・事務局回答、委員の意見等 2. 事務局より説明。委員質問・事務局回答、委員の意見等 3. 事務局より説明。委員質問・事務局回答、委員の意見等		
審議経過	事務局	（副委員長の選任について の説明） これまでは、嬉野市商工会事務局長である白濱委員へ副委員長をお願いしておりましたが、R5.3.31 付で退職されています。 嬉野市総合戦略推進委員会条例第6条第2項の規定によりますと、 「副委員長は、委員長が委員のうちから指名する。」となっております。この条例の規定を踏まえ、事前に委員長を交え協議させていただき、今回の委員会は欠席されていますが、テレビ九州代表取締役社長の西川委員へ就任を依頼し、内諾を得ています。以上、説明を終わります。	
	委員	意見なし。	
	議長	ご異議ございませんので、嬉野市総合戦略推進委員会条例第6条第2項の規定により、西川委員を副委員長に指名いたします。	
	事務局	（R4 年度事業進捗状況・効果検証 基本目標①嬉野市に住みたい・行きたい“ひと”の流れをつくる。についての説明） KPI の説明 ◎交流人口【観光客数】⇒R3 からは 80 万人程度増加。コロナ前に戻りつつある。 ◎人口の社会減(5 カ年累計)⇒R4 は流出が少なかった。年度によって増減の大小あり。 ○交流施設来訪者数⇒114 千人。(R4.9.23～R5.3.31) 単年度換算すれば 160 千人。まずまず。 ・駅周辺整備→概ね完了。 ・未来技術実装→R2 事業計画、R3 国採択、R4 地方創生交付金活用事業開始。先日、自動運転車両の実証運行が実施。 ○宿泊観光客数(全体)⇒R3 からは 16 万人程度増加。コロナ前から 130 千人程度下回っているが、徐々に回復傾向。 ○外国人観光客数(宿泊)⇒R4 は 3 千人。R3 はほぼゼロ。これからに期待。 ・観光 PR→最近は持ち直しつつある。観光サイドで今年度は関西・中国地方へのプロモーションを実施。 ・広域観光→武雄・有田と連携している。今週、都庁での PR 活動を実施。 ・富裕層・インバウンド→国の高付加価値化事業を活用した旅館の設備投資が活発。さらなる誘客に期待。	

		○市・県が支援した移住者数⇒R3 から 114 人増の 488 人。概ね順調に目標に近づきつつある。 ・移住促進⇒今年度、応援金メニュー拡充。住宅取得 ZEH を追加。 ・おためし移住施設⇒R4 は 12 件。月に 1 件程度の利用。 ○文化ホール利用件数⇒R3 から微増。概ねコロナ前の数値 ・佐賀・嬉野ゆかりの文化人活用⇒R3 は D 評価。R4 は嬉野市歌の作者である佐藤和哉氏を招へいしコンサートを開催。新幹線の開業イベントにも携わっていただいている。 ○スポーツ施設利用件数⇒R3 より 1,400 人程度増加。R1 に市中央体育館（U-Spo）会館の影響。目標に近づきつつある。 ○スポーツ合宿参加者数⇒R3 から微増。コロナ前からは大分下回っている。今後は戻ってくるかと思う。 ・イベント・誘致⇒サガン鳥栖嬉野 DAY は毎年開催。今後は、佐賀ブルーナース関連イベントが考えられる。 ・スポーツライフ推進⇒ミズノと連携。ウォーキング、トレーニング教室を毎年開催。さらに連携を深め、市民の健康づくりを推進できればと考える。 ○UD ガイド登録者数⇒R3 より増減なし。 ○ボッチャ競技参加人数⇒R4 は 350 人程度増加。2024 国スポの効果もあり広く周知ができたのでは。 ・バリアフリー観光⇒さらなる推進のため引き続き、UD おもてなし体制整備事業等を継続したい。 ○住みたい等高校生 Q⇒アンケート未実施。R6 年度に予定。 ○ふるさと応援寄附金の寄附者数⇒R3 から 20,000 人程度減。R3 が過去最高であった。金額にして 456,528,500 円の減。 ・郷土愛育成⇒地域とともにある学校（コミュニティスクール事業推進）というところで地域コミュニティと連携しながら進めている。 ・ふるさと納税⇒個人版 28.4 億円、企業版 R4 は 0 件。R5 は現時点で 2 件、2,000 千円
	委員	ひとにやさしいまちづくりの推進について。 バリアフリーについて。図書館の読書バリアフリーは対応しているのか？フォントを少し大きくしたりだとか、読み上げ等が可能な電子版を導入したりとか、芥川賞の受賞の際に話題になっていた。そういう取組があれば聞きたい。
	事務局	現状は取り組めていない。今後の課題であると考えてる。 ひとにやさしいまちづくりの推進については、バリアフリースターセンターが担い手としていらっしゃる。 そちらでハード面・ソフト面・啓発活動は行ってもらっている。個々に図書館とか施設のバリアフリー、UD 化についてはここに記載の部分はやっていると思うが、具体的な意見をいただきましたので担当課へも話をさせていただき今後の事業展開の目標として検討することは可能だと思う。
	議長	先進的に取り組んでいる図書館もみたことがある。やろうと思えばいくらでもできることはあるので、予算もかなり必要となると思う。ぜひ積極的に考えていただければと思います。
	委員	1 ページ目の関西・中国地方に向けたプロモーションおよび関連イベントの開催についてですが、今年は広島のマツダスタジアムに行かれ

		て PR されたかと思うが、去年は行ってなかったのか？
	事務局	去年はなかったように記憶しています。 新・まち課としては実施していない。ということで D 判定。観光課への確認は漏れていました。
	委員	D 判定は残念な感じがしたもので質問しました。
	事務局	観光分野では先ほどありました様に広島だったり、大阪もありました。観光部門が PR に行っている。関西・中国地方のお客様を意識して PR は行っている。
	議長	人口の社会減について。年によるばらつきはあるとはいえ減少している。中身について転入・転出どちらが寄与しているのか、もう少し追加説明いただきたい。
	事務局	詳しい資料を今日は持ち合わせていないですが、どちらかといえば割と転入されている方が一定数おられるため R4 実績として 6 人減となっていると考える。 R4 に関しては、ほぼ転入・転出ともに 800 人程度だったと記憶します。自然減は毎年 200 名程度。前は 100 人、200 人転出が多かったが R4 はほぼ同数。第 2 期に入ってからは大分改善しているといえる。施策で言えば移住定住に関してうちの制度を利用されている方が増えているのは確かです。
	委員	文化の薫るまちづくりの推進について。塩田津のくだりがあったかと思いますが、新幹線が開業して来訪者が増えたと思うんですけど、新幹線駅から塩田の方まで誘導する方法は具体的にどう考えてますか。塩田津で仕事をしているが、新幹線開業でお客さんが増えた実感がない。
	事務局	未来技術実装事業の中では、駅から嬉野町のまちなかへの誘導をおこなっていますが、塩田町は対象ではない。 塩田津は今、店舗等も増え、うまく誘導できていないことがもったいないように感じる。課題として検討したい。
	事務局	(R4 年度事業進捗状況・効果検証 基本目標②嬉野市で働きたい“しごと”をつくる。についての説明) ◎新規雇用者数【5 カ年累計】⇒R4 までの実績 38 人。R4 新規誘致企業 3 社 ○企業誘致による新規雇用者数⇒R4 単年度実績は 28 人。一定数の雇用はあるが、目標到達は厳しい。 ○市内企業支援マッチング支援による新規雇用者数⇒0。R3 も 0。 ○市が支援した起業件数⇒9 件。転入企業支援 (R4) 2 件。 ・地元企業・事業所支援→コロナ臨時交付金を活用。支援金の給付・経済対策を実施。 ・大学等との連携→新・まち課は佐大理工学部。観光課は R3 和歌山大学観光学部と連携。

		○観光消費額⇒R3 より 48 億程度増。コロナ前までとはいかないまでも持ち直しつつある。 ○商店街の空き店舗率⇒年々悪化傾向。 ・事業者支援⇒コロナ臨時交付金を活用。 ・消費拡大⇒こちらも、コロナ臨時交付金を活用し消費喚起。 ○うれしの茶販売高⇒R3 から約 40,000 千円増。増加傾向。 ○海外販路開拓に向けた商談成立件数⇒R3 でも伸びたが、R4 はさらに急増。 ○海外販路開拓によるうれしの茶出荷量⇒微増。商談件数は増加しているが、出荷量は伸びていない。少量の取引が多数。海外の農薬基準が厳しいことも課題。 ・事業者支援⇒コロナ臨時交付金を活用。災害支援等。 ・良質な茶生産⇒今年度、釜炒茶・蒸製玉緑茶部門で個人賞、産地賞ともに農水大臣賞ダブル受賞。4 冠。 ・輸出⇒海外の農薬基準を満たしていくことが課題。 ○うれしのブランド野菜作付面積⇒増減なし。最近はビーツ（西洋野菜）の栽培に力をいれている。給食のメニューにもビーツ蒸しパンが提供されている。 ○酒造用米の作付面積⇒増加。基準値を上回る。 ○農村ビジネスサポート事業⇒0 件。R3 は 19 件。 ・就農基盤整備⇒園芸ハウス団地整備。（スマートアグリ宮ノ元）きゅうり、トマト。 ・6 次産業化⇒具体的な取組ができていない状況。 ・スマート農業⇒機械導入の支援を実施。 ○任意営農組合の法人数⇒増減なし。 ○トレーニングファームによる市内での就農者数⇒微増。 ○青年就農者数⇒目標達成。 ・就農支援⇒R3 第 1 号入園者（トマト 1 名）。R4 きゅうり 2 名
	委員	雇用について。今年度に入ってホテル等の開業が 3 件程度あると思うが、どの程度雇用者数を見込んでいるのか？
	事務局	担当課として把握できる部分が限られているため、現状、把握できていない。
	議長	今起きていることとして、どれぐらいの雇用増が見込まれるのか市で把握しないのか？市の商工部門とか。
	事務局	ある程度の概数で見込むことは可能かと思われる。
	議長	人口減少にどう対応していくのかといったことにも関連すると思う。そういった数値も把握する必要があるのでは？
	委員	そういった雇用をせっかく生み出しているので、嬉野に住んでいただいて税収も増える。そういういい流れが向いていると思う。せっかく目標もあるので把握して良いのではと思う。
	事務局	移住してこられる方に対しての支援は色々メニューがありますので、活用いただいて住んでいただくことの後押しはできる。今後、そういった数字の把握も気を配っていいきたいと思う。

委員	市とも連携させていただいて高付加価値補助金事業は実施している。その中で商店街や旅館等リニューアルされているが、まだまだ空き店舗が多い。建物を取り壊そうかその辺りも課題となっている。その辺りの対策は？
事務局	空き店舗対策については商工会さんの方で関係機関連携しながら支援業務等行っている状況です。マッチングの部分でうまく行かないところもあるかと思いますが、空き店舗率も上がってきていて危機感があります。家賃と借り手と貸し手の関係もあって増えていると思います。嬉野は店舗兼用住宅も多いため、なかなかその辺りでうまく行かないケースもあると聞いています。空き家、空き店舗は人口減にリンクする問題でもありますので、その辺りの施策、支援強化を頭に入れながらということは考えています。今後の支援強化を検討していきたいと思います。
委員	農業者の担い手育成の部分。農地を手放したいという方も最近増えてきていますが、皆さん言われるのが「農業じゃ儲からない。」ということで辞められる方が多い。今回、32 人の方が新たに就農されていますが、新たに就農したいと思える様な PR の仕方、人材の確保については何か検討されていますか？
事務局	農業政策の部門で検討されているかは細かい部分となり事務局としてわかりかねる部分ではありますが、先日、スポーツフューチャーセンターという会議の場でテーマが「農業×観光」でしたが、その中でも言われていたのが、農業自体の価値を上げていくといった方法を考えていかないといけないのではないかと聞いた話がありました。担い手が続いていかななくなることは目に見えているため、農業自体の価値・ブランド力を向上させる方策もあって良いのではなかろうかといった話でした。今後はそういった部分も含め、施策に反映させる必要があるかと思います。
議長	新たに就農された方をロールモデルとして情報発信するのも次に続く方にとって良いかと思うのでご検討をお願いします。
事務局	(R4 年度事業進捗状況・効果検証 基本目標③嬉野市で結婚・出産・子育てしたい“まち”をつくる。についての説明) ◎出生数⇒509 人(R2、R3、R4 累計)。年間 200 人程度を目標としている。ペースが鈍い。減少傾向。 ◎婚姻数⇒397 組(R2、R3、R4 累計)。良いペース。 ○出会いの場におけるカップル成立数⇒9 組(累計)。若干増えてはいるが低調。 ○結婚支援事業登録者数⇒36 人。登録者数減。 ・出会いの場提供→新幹線を活用したイベントも実施。 ・情報発信→既存の情報発信に加え SNS の活用にも取り組みたい。 ○訪問指導・健康相談件数⇒2,010 人。減少傾向。コロナの影響を引きずっている？R2 の 50%程度。 ○電子母子手帳アプリユーザー数⇒522 人。増加傾向。目標達成。 ・小児救急→市報・HP での情報提供。広域での夜間・休日診療を実施。 ・子育て支援→専門スタッフによる切れ目のない相談体制を確保。

		○病児保育事業⇒10人。R3は43人。減少傾向。 ○ファミリー・サポート・センター事業利用者数⇒731人。増加傾向。目標値を上回る。 ○日頃から家事に関わる男性の割合⇒74.6%(R3アンケート)。次回はR8予定。 ・子どもセンター⇒こども・家庭に関する相談体制の確保。 ・幼保小連携、放課後⇒円滑に小学校入学ができるよう連携を図る。 ・女性活躍⇒嬉野市スポーツフューチャーセンター設置基本構想を策定。女性活躍のまちづくりの中で、スポーツの力を取り入れ事業を実施。R4から地方創生推進タイプ交付金事業を実施。 ○全国学力調査⇒小6国語・算数ともに平均以上。中3国語平均以上、数学平均以下。中3数学のみ下回る。R3の中3は全科目平均を下回っていた。改善傾向。 ○県学習状況調査⇒小5国語、中1国語、英語以外は平均を上回る。R3は小6算数、中1国語、社会、中2理科以外は平均以上。改善傾向。 ○小中学校のICT環境整備⇒100%整備。(R3完了) ○特別支援教育支援員の配置⇒必要とする全ての学校へ配置。15人。増減なし。目標達成。 ・生きる力⇒第3版に改訂。SNS関連の内容強化。 ・タブレット端末⇒各学校で意欲的に取り入れ、学習支援ソフトと授業支援ソフトが導入され、授業改善につながり、また、個のまなびにあわせた対応が可能となった。
	委員	女性活躍について。スポーツの力を使ったスポーツフューチャーセンターとは具体的なイメージがわからない。女性の活躍とスポーツにどういった関連があるのか。女性の活躍とは社会的な進出を活躍とみているのか。どういったことを活躍と捉えフューチャーセッションを行っていくのか。
	事務局	文字面をみただけでは分かりづらいと思うが、フューチャーセッションという未来志向の対話を行う中で、スポーツ、アスリートの方がもつ魅力、スポーツの力を利用して将来像を描くものである。女性が嬉野市に住み続けられるような施策展開に繋げ、女性の定着を図っていく。具体的に何か事業をおこなって、社会進出して活躍していただくというイメージではない。
	議長	スポーツは、どう関係している？「女性アスリートが活躍する」ではないですね？
	事務局	「女性アスリートが活躍する」ではないです。
	議長	「普通の女性が活躍する」社会・地域でスポーツはどう関わる？
	事務局	アスリートの方だったり、スポーツをされている方がもたれているリーダーシップだったりを活用するイメージ。具体的にスポーツでまちおこしも違う。こういったリーダーシップだったり、スポーツマンシップだったり未来志向の対話の中で生かしていくイメージ。

事務局	一番最初のきっかけは、女子野球プロリーグとの連携協定を行う中で嬉野の野球場に来られた際に、そもそも野球場は「女性が利用する想定で設計されていない」づくりであった。トイレも女性利用の想定がない。男子トイレしかない。そういった中で、まちづくりに女性目線を取り入れる必要があるのではないか、嬉野市も人口消滅可能性都市にあげられていて、定義として「若い女性の人口減少が多い」ということで、これを食い止めるためには、まちづくりに女性目線を取り入れることが必要となり始まった事業である。きっかけが女子野球ということもあって「スポーツの力を利用した未来志向の会議」ということになっている。一流アスリート選手がもつスピーカー効果というものも生かして発信することもひとつの目的としている。今年度は3回を予定し、「農業×観光」「子育て」「移住」といったテーマで実施を予定している。社会的な女性の活躍を推進するというよりも女性目線を活かしたまちづくりをすることで女性の生産年齢人口を増やす様な施策に結び付けたいといった思いから始まった事業である。
委員	今の話を聞いてもスポーツの関連性はあんまりわからない。
事務局	スポーツにおける女性の競技力向上とかではなく、スポーツがもつ「賑わい・熱狂・繋がり」を通じて発信される「情報拡散効果」や「人と人とをつなげる効果」などを活用して未来志向型の対話を行いアイデアを出してもらい女性活躍に繋げるといったものであると思う。
委員	そうすると、男性社会の中で活躍されている女性にスポットを当てた方が気づきの部分で言えばそっちの方が良いと思うが... スポーツを絡めないといけなかったのかが疑問。
事務局	フューチャーセンターの前にスポーツがつくという試み自体が、嬉野市しかやっていない斬新なものである模様。そういったこともあって地方創生推進タイプ交付金が活用可能となった。
委員	何かしらスポーツを絡めないといけないわけですね。
事務局	そうです。
委員	やるのが決まっているのであれば、今後の取組のところでもうちょっと具体的な何か「すること」を決めた方がよいのでは。セッションでお話して終わりにになってしまうと思うときみしく感じる。なにか一つでもあればうれしい。
議長	現在進行形ですよ？
事務局	はい。
議長	うまく情報発信してください。
事務局	施策に反映させるためにセッションを行っていると思う。どういう形で反映させるのかは不明な部分もあるが、話をして終わりではダメだと思う。話した後の方がどちらかと言えば大事なので、その辺りのもって行き方は見えていない。何かをするために話をするという場にはなると思うのできちんと施策に反映する形で進めていければと考えま

		す。 (R4 年度事業進捗状況・効果検証 基本目標④嬉野市で安心して暮らしたい“地域”をつくる。についての説明) ◎地域コミュニティ事業への住民参加数⇒16,584 人。増加傾向。まだまだコロナ前までには回復していない。 ◎65 歳以上人口に占める要支援・要介護者の割合⇒17.48%。横這い。 ・コミュニティ活動→今までのコロナ禍での活動。行事の削減。今後、徐々に回復していけばと考える。 ○消防団員数⇒1,009 人。横這い。 ○防災メール登録者数⇒1,218 人。微増。各々の防災意識の高まりが数字に反映されている。 ○市内人身事故発生件数⇒50 件。減少傾向。目標値達成。 ・消防団員数→担い手である若者の参加が少ない。団員の確保に苦慮。 ・防災訓練→大雨被害等により防災意識が高まった。共助の大切さ。 ○特定健康診査受診率⇒46.4%。若干減少。 ○特定保健指導受診率⇒63.3%。目標達成。 ○各がん検診⇒いずれも受診率が基準年を下回る。 ・健康マイレージ・サガトコアプリ→以前より普及したが、今後も健康に関心を持つきっかけづくりとして事業継続していきたい。 ・コロナ感染対策→医療機関等へ臨時交付金を活用した支援を実施。 ○「高齢者居場所づくり」による設置数⇒21 箇所。増加傾向。 ○認知症サポーター数⇒2,218 人。増加傾向。 ・認知症サポーター→小規模での口座を開催。 ○市内公共交通路線数⇒11 路線。増減なし。 ・公共交通ネットワーク→R3 地域公共交通計画策定完了。R4 デマンド型乗り合いタクシーの実証運行を実施。今後は、デマンド型システムや地域運営バス（福祉バスヨッシー号）も含めて検討。
	委員	単身世帯・独身者の支援施策があつたりしますか？
	事務局	独居老人とかですか？
	委員	高齢者もだが、中高年、若い方、結婚せずに独身で過ごしている方、単身で生活していらっしゃる方が増えていると思う。最終的にそういった方が孤独におちいつているという話も聞いてそういう施策があるのかなと思い質問。
	事務局	コミュニティ活動の中では「異世代間交流」といったところで事業展開はしている。具体的にそういった方を訪問して様子をうかがったりする部分は特にはないが、地区の民生委員さん達が一部そういった部分を担っていただいていると思う。
	委員	先ほどの転出・移住にもかかわってくるのかなと思う。家族で住んでいるけど自分は独身でコミュニティがない。といった人もいると思う。そういった方が転出したりだとか。いずれ孤独になる。こういった部分が気になる。

	事務局	移住者の方に限るような話になりますが、本市地域おこし協力隊の方が主催して「移住者向けのコミュニティづくり」は積極的に交流会等を開催されています。
	事務局	次第 5 地方創生関係交付金事業について ① 地方創生臨時交付金事業（新型コロナウイルス感染症） ○R4 事業一覧の赤網掛け部分は繰越事業。介護保険施設の光熱水費の一部運営経費の支援だったり障がい者支援施設の一部運営経費支援、保育所の給食費補助、肥料価格高騰に伴う補助、うれしカード事業（ポイントカード事業）を実施。 ○R5 事業については、住民税非課税世帯に対する給付金事業、うれしカードを活用し買い物額の 100%をポイント還元する事業、新幹線利用の宿泊観光客への交通費の一部を補助等を実施。 について質問を受け付ける。⇒質問なし。 ② デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）交付金事業 R4 事業について。 ○未来技術実装事業 ・ R4 事業費 85,998,000 円、交付金額 42,999,000 円。 この後の現地視察の中で実際に体験できる部分もあるが、メタバース、自動運転体験試乗会を実施。 ・ R5 事業費 100,000,000 円、交付金額 50,000,000 円。 自動運転に関して R4 は体験試乗会を実施したが、さらに一步踏み込んで実証実験を実施。 ○スポーツフューチャーセンター ・ R4 事業費 8,000,000 円、交付決定額 4,000,000 円。 9 月補正により実施。1 回シンポジウムを実施。（バレー女子元日本代表の益子氏ほか）基本構想を策定。 ・ R5 事業費 10,000,000 円、交付金額 5,000,000 円。 「観光×農業」「子育て」「移住」のテーマでフューチャーセッションセッションを 3 回予定。 ○まちの変化 ・ R4 事業費 5,300,000 円、交付金額 2,650,000 円。 波佐見、有田等と構成している肥前窯業圏の協議会負担金。西九州新幹線沿線 5 市で構成する 5 市ネットワーク会議負担金。 ・ R5 事業費 360,000 円、交付金額 180,000 円 肥前窯業圏協議会負担金、5 市ネットワーク会議負担金。金額は変わっているが、内容は R4 と同様。 ○シュガーロード ・ R4 事業費 1,619,000 円、交付金額 809,500 円。 シュガーロード協議会負担金等。 ・ R5 事業費 700,000 円、交付金額 350,000 円。 シュガーロード連絡協議会負担金。

	委員	地方創生臨時交付金について。うれしカードは今後も活用するのか？自身の肌感だと、あまり評判は良くなさそうな感じ。
	議長	それは事業者？利用者？
	委員	利用者。今回は、市外の方でうれしカードを所持している方も対象だったので買い物に行っても商品が無い状態であった。このため期間中にポイントをためることができなかった。もうちょっとやり方があったのでは？
	事務局	100%還元は良すぎたと思う。商品がなくなるといったイメージがうちもできなかった部分もあったと思います。加盟店が増えれば利用先も増えるので、その辺りは一つ課題として受け止めたいと思います。基本的には継続したい事業と考えています。
※委員会終了後、新幹線嬉野温泉駅周辺の現地見学会を実施。		
その他	なし	

